

平成27年度農高・農大就農促進対策事業

事業主体名 鹿児島県立薩摩中央高等学校

1 目的

現在、本校卒業後の就農率は極めて低い。農業に関する様々な体験や講話等により、就農に向けた意識付けが必要である。

- ・ 農家実習…先進的な農家等で実際の農業を体験させ、農業技術の習得及び経営的な感覚を学ばせる。
- ・ 就農視察研修…県内外の先進的な農家及び農業関連施設の見学で就農意欲の醸成を図る。
- ・ 就農促進講話…近隣の農家等から、農業について専門的な講話をして頂き、就農意欲を高めさせる。
- ・ 営農の門出を励ます会…本校を卒業し、自営する者、研修後自営を志す者の門出を祝し、その意志を貫くよう励ます。

2 実施状況

(1) 「農家実習」の実施

10月16日～24日の2週間、先進農家での実習を行った。実習では農業生産の大変さだけでなく、高い技術ややりがい、楽しさを学ぶことができた。農家実習を終えた生徒たちは学校生活において意欲や行動に大きな変化が見られるようになった。



(2) 「営農の門出を励ます会」の実施

2月6日に就農を志すために農大へ進学する者や農業関係の法人への就職する者の門出を励ます会を行った。

それぞれ後輩への思いや期待を語り進学先や就職先での抱負を述べた。また、在校生や関係機関等から励ましのおことばをいただき、より一層志を強くする会となった。



3 今後の課題及び取組

非農家の生徒が大半であることから、農業に興味を持たせるために、講演会や視察研修を継続的にを行い、より実践的なものとして先進地農家での実習や研修を充実させ、一人でも多くの生徒に就農を促していきたい。